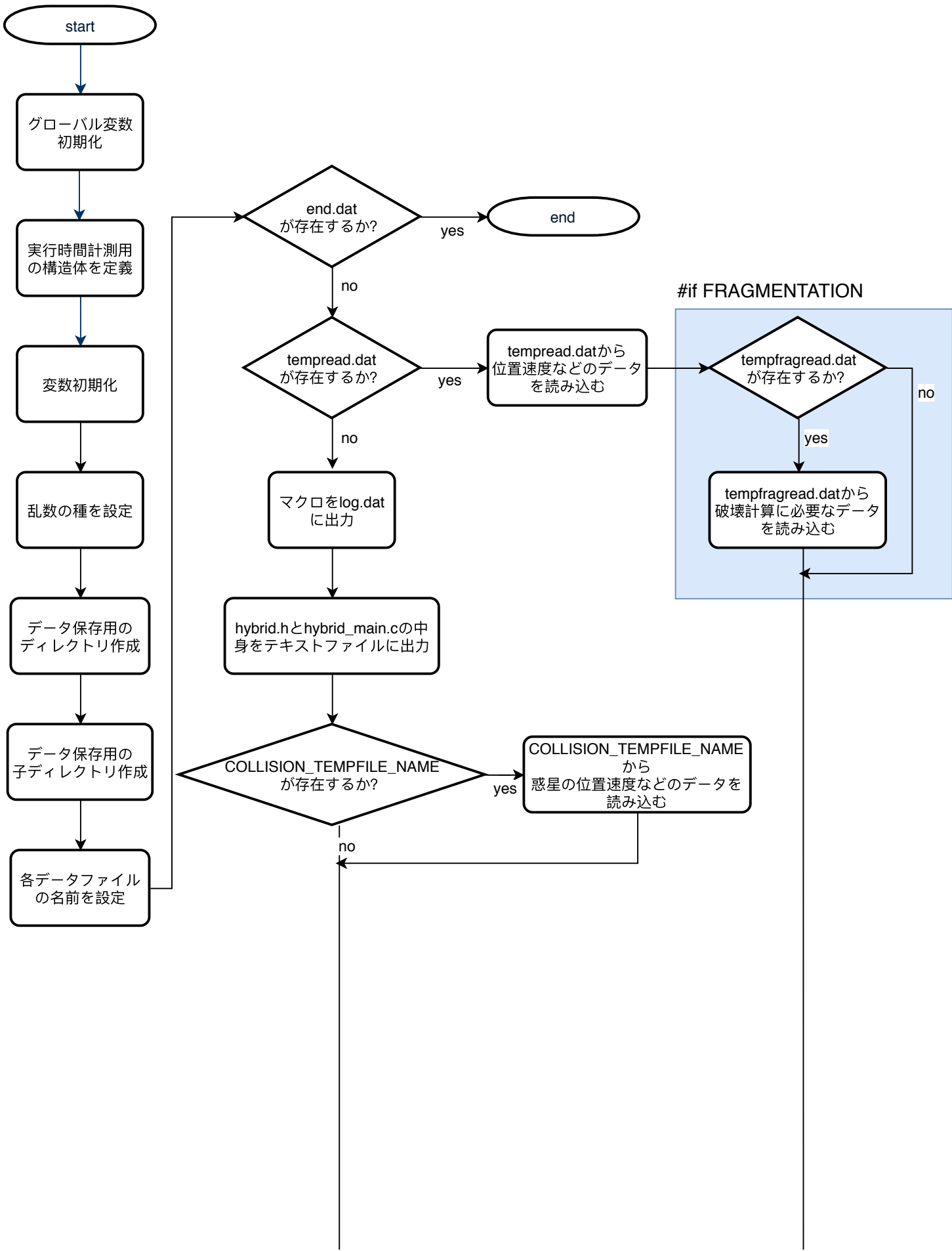
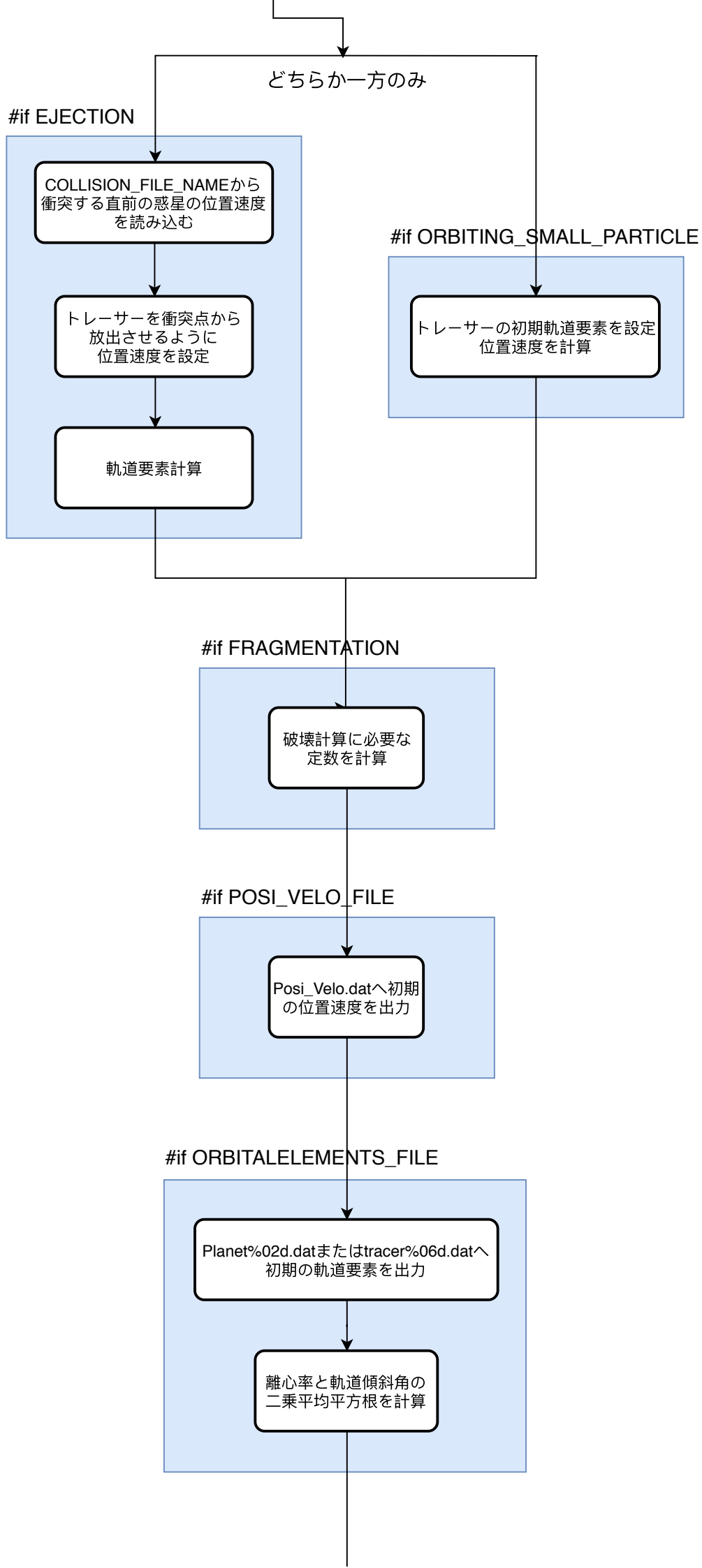


# ISOYAforSaturn : 巨大衝突した天体から破片を放出させる計算

## hybrid\_main.c





#if ENERGY\_FILE

中心星を含めた  
重心計算

初期全エネルギー計算

初期全角運動量の  
大きさ計算

初期加速度と加加速度  
を計算

初期タイムステップ計算  
2進数に設定

ヒープソートを用い  
タイムステップが小さ  
な順に粒子を並び替え

タイムステップが一番  
小さい粒子集団の総数  
をn\_i\_sysとする

タイムステップが一番  
小さい粒子集団のうち  
一番若い粒子番号を  
i\_sysとする

基準とする惑星の軌道長半径から  
 $\pm 0.5 \cdot \text{DELTA\_HILL} \cdot$   
(相互ヒル半径) の範囲にいる粒子の総  
数をcenterとする  
それより内側にいる粒子の総数をinner、  
外側にいる粒子の総数をouterとする

#if TRACERLIST\_FILE

tracerlist.datへ初期  
に各粒子がどの範囲  
にいるか出力

tracerlistnumber.dat  
へinner, center,  
outerの数を出力

tracerlistnumber.dat  
へinner, center,  
outerの数を出力

